

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 尾道市立山波小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 722-0052
広島県尾道市山波町1630

E-mail : samba-e@onomichi.ed.jp

Website : http://www.onomichi.ed.jp/samba-e/

児童生徒数：男子 115 名 女子 107 名 合計 222 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ア 3年生

「山波の自慢を見つけよう」をテーマに、地元の特産物について学習を進め、山波地域の良さを学習している。具体として、県内でも有数の産地であるイチジクについて、イチジク生産者をストーリーチャーとして招き、イチジクの栽培についての思いや苦労等について学んでいる。また、みかん・桃の生産者にも同様にゲストティーチャーとして来て頂き学習を深めている。地域に出向き、摘果作業などを体験している。



イ 4年生

「山波の伝統文化についてふれあおう」をテーマに、山波地域に古くから伝わる「山波神楽」「もちつき神事」「山波とんど」について調べたり、体験活動を行っている。特に「山波神楽」については、山波神楽団の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、実際に子供神楽を演じている。4年生からは伝統文化クラブとしてクラブ活動としても取り入れている。

5年生からは「山波とんど」に、6年生からは「もちつき神事」に参加する。



ウ 5年生

「宝を育む 山波の洲」をテーマに、県内有数のアサリの産地であった「山波の洲」について調べることを通して、環境問題を考えている。全盛期（約50年前）から比べると0.8%まで落ち込んだ漁獲量である。現在は全滅状態に近い。それらの現状について、地元漁協や行政関係者をゲストティーチャーに迎え学習している。実際に山波の洲の現地調査を行っている。



エ 6年生

「山波発展プロジェクト」と題して、地元根付く伝統の祭り「もちつき神事」や「山波とんど」に参加し、伝統を受け継ぐ体験活動をしている。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）